
○自動運転実証調査事業

○桑名市コミュニティバスへのEVバス導入

令和6年11月13日



自動運転移動サービスの導入の目的・背景

- 桑名市は日本有数来場者数を誇るテーマパーク「ナガシマリゾート」を抱える県内屈指の観光都市である。
- 地域交通の課題としては、進展する少子・高齢化に伴う運転手不足への対応、慢性的な交通渋滞の緩和、交通に起因する環境負荷の低減等があり、市内の交通空白地を解消しつつ、安全かつ円滑で持続可能な地域公共交通手段を確保していく必要がある。
- また、ナガシマリゾートへの観光客の大半は自家用車を利用しており、周辺地域において慢性的な渋滞を誘発する反面、リゾートでの観光後に桑名駅がある中心市街地へ立ち寄ることが少ないということも、市内観光の回遊性という観点から課題であると考えられる。
- こうした点を踏まえ、桑名市の観光の優位性を最大限発揮するためには、限られたリソースの中で利便性の高い公共交通網を整備することで移動を円滑化させるとともに、渋滞重点箇所の緩和・解消を図ることが課題となっている。



■ 長島地区におけるレベル4自動運転社会実装推進

- 長島駅まで路線延長を行い、2025年度レベル4許認可取得に向けた走行環境リスクアセスメント更新と更なるルート課題抽出・検証を行う。
- 2025年度レベル4許認可取得に向けた走り込みにより、自動運転化率等の技術検証を行う。
- 社会実装路線における市民の利便性向上や、事業者の巻き込みによる事業性検討を行い、2026年度長期運行実施に向けて来年度購入する車両仕様を特定する。
- 2025年の特定自動運行に向けた申請準備や体制の検討を行う。
- 2025年度のレベル4自動運転に必要な遠隔監視システムの運用の在り方について検討する。



- 本市では、将来的には自動運転を長期的に持続可能な移動サービスとして展開していくことを目指し、市内外を問わず多くの利用者が見込まれる観光拠点であるナガシマリゾートにおける自動運転サービスの社会実装に向けた実証実験を展開している。
- 本年度、2025年度中に自動運転車両を取得するとともに、レベル4自動運転に必要な許認可の取得に向け、導入車両やO D Dのほか、事業性の向上に向けた課題の検討を目的とした走行実証を実施する。

実証実験概要

○ 観光路線における持続可能な移動手段としてのレベル4 自動運転移動サービス

■ 車両

「Minibus」（ティアフォー）

- ・定員：23名（座席15名、運転席1名、立席7名）
- ・速度：最高速度70km/h（実験時35km/h）
- ・操作系：通常のハンドル
- ・台数：1台



■ 体制

- ・ベンダー：アイサンテクノロジー株式会社
- ・運行主体：三重交通株式会社
- ・運転手：車内
- ・保安員：有

■ 事業の特徴

- ・地元交通事業者、観光事業者と連携し、具体的かつ持続可能自動運転移動サービスモデルの構築を目指す

■ 運行ルート・運行期間／運行形式

- ・運行ルート：長島駅～なばなの里～ナガシマスパーランド
- ・運行期間：2025年1月
- ・運行形式：運賃無償の定時運行バス



レベル4 自動運転移動サービス実装に向けた方向性

~2023

Step
01

事業モデルの検討

- レベル2 自動運転を活用した社会受容性の醸成と技術検証
- レベル4 自動運転移動サービスを実装するための事業モデルを検討
- 様々なユースケースにて実証実験を実施

2024

Step
02

レベル4 許認可に向けた調整

- レベル4 の走行環境条件付与に向けた車両、ODDの検討
- 将来的に事業化する路線において走行実証を実施（Minibus 1 台の運行）
- 事業性の向上に向けた課題の整理

2025

Step
03

レベル4 許認可の取得

- レベル4 自動運転移動サービスを実施するための車両を購入
- 車両の自動運行装置（レベル4）の認可手続き
- 特定自動運行の許可手続き

2026~

Step
04

持続可能な運行へ

- レベル4 自動運転を含む路線での定常運行の開始
- 運行に必要な人員の省人化検討
- 事業性の確保に向けたビジネスモデル構築
- 他地域への横展開の検討

長期課題

事業性のある移動サービスに向けて

- どのように省人化を図るか
- 運行コストと収入のバランス
- 当面（車両の減価償却期間）の事業維持

コミュニティバスへのEV車両導入に係るラッピングデザイン業務

- 桑名市内で運行中のコミュニティバスに初めてのEV車両を導入するにあたり、車両のラッピングデザインを作成する

目的

EV車両の導入を単に脱炭素のみならず、公共交通そのものへの関心を高め、地域との「共創」の契機とすべく、住民の興味・関心を引くようなデザインでラッピングを施し地域住民に広くPRする

車両

- ①メーカー
EV Motors Japan
- ②車種
EVコミュニティバス（F8 series4-Mini Bus）
- ③台数
2台
※複数デザインを選出頂き、桑名市長が最終決定をする

デザイン

- 以下の点を踏まえ、若者の斬新なアイデアを活用したデザインを制作する
- ・高齢者がメインターゲットの公共性の高い乗り物であることを考慮する
 - ・桑名市のイメージに合わせ、まちに溶け込めるようなデザインであること
 - ・脱炭素社会の実現に向けたEV車両をアピールするデザインであること
 - ・その他、「桑名市と学校法人同朋学園 名古屋造形大学との連携・協力に関する協定」の趣旨に沿ったデザインであること

